

伏見天皇本影印

源氏物語

三

古典文庫

伏見天皇本影印

源氏

江苏工业学院图书馆
藏 諸 章

三

古
典
文
庫

平成三年八月二十日印刷発行

非売品

編者 吉田 幸一

三 発行者 吉田 幸一

源氏物語

印刷者 白橋印刷所

発行所

114

東京都北区西ヶ原
三ノ三四ノ一二

古典文庫

電話(三九一〇)二七一七
振替口座東京九・一四五七七番

第三冊 目次

凡例	三
九 葵	五
一〇 賢木	一四九
二 花散里	二九三
三 須磨	三三一
所収本書誌	四三三

凡例

一、本書には、架蔵『源氏物語』五十四帖三十二冊を十四分冊に複製するに当たって、その第三冊として、「葵・賢木合一帖」と「花散里・須磨合一帖」の二冊を、縮写影印して収めた。

一、ここに影印するに当たり、大体次のようにした。

1 原本諸帖には、首尾に遊紙（白紙）がある。その枚数や有無に若干相異があり、首の白紙一丁には、後人による巻名を記した押紙が、貼られているのは、桐壺巻から常夏・篝火・野分合一帖まで、それ以下にはない。これが首一丁表に貼つてあれば、扉の役目をするが、無い巻は白紙である。

なお、影印に際し、遊紙は首尾各一丁にとどめ、余は影印面から割愛した。

2 各冊の丁付は、各帖ごとに首の遊紙一丁から付けた。そして、『源氏』の巻が二つ以上の合一帖本には、中程で巻名が替るごとに、その巻の本文墨付一丁から丁付を起こした。丁の表裏はオ・ウと略称した。

3 丁付に施した五十四帖の巻名は、現在通行の漢字表記を用いた。(例、はゝ木ゝ・箒木↓帚木。蘭・ふち袴↓藤袴。)

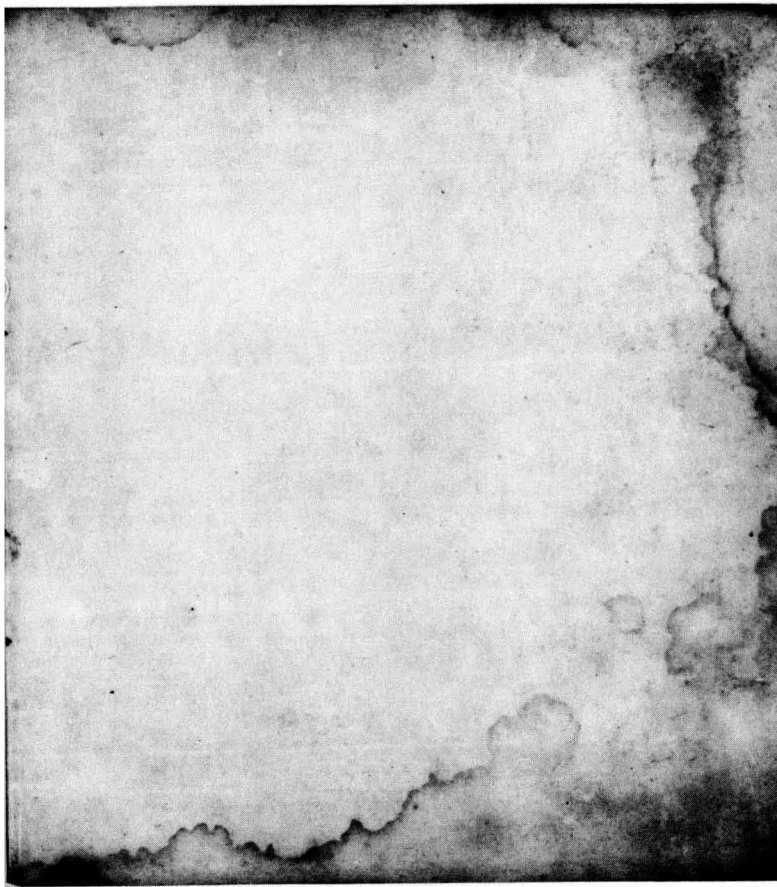
4 原本には、表紙の文様や外題の剝落、本文にも火水による染みや損傷、料紙による裏写りの部分などがある。そうした箇所は、できる限り除去したが、それが不十分な箇所は、別に原色版によって補うことにしたい。

5 原色版による補足には、その巻名や丁付を示し、十四分冊中、比較的頁数の少ない冊子に随時一括して納れる。

6 各所収本の書誌的解説は、分冊ごとに、その巻末に記した。



葵（表紙）



葵（見返し）



葵（一才）



葵（一ウ）

母の中へつゝもくもくおぼれ
おぼれくちかたにわ々のたも
なまじうやわらふきき望の
せぬあつちうしつゝ海へてう
わしこもたはつちかたなけさ
こころねねむくもやななれ
それこそ人のちうちうつさ
すあもわちかなまじくもはぬ
しつゝねねいも人なまじ
てうねねいもあつちうさ

あはれなる心は
はるかにわたる
はるかにわたる
はるかにわたる
はるかにわたる
はるかにわたる
はるかにわたる
はるかにわたる
はるかにわたる
はるかにわたる

葵（二ウ）

七
 八
 九
 十
 十一
 十二
 十三
 十四
 十五
 十六
 十七
 十八
 十九
 二十
 二十一
 二十二
 二十三
 二十四
 二十五
 二十六
 二十七
 二十八
 二十九
 三十
 三十一
 三十二
 三十三
 三十四
 三十五
 三十六
 三十七
 三十八
 三十九
 四十
 四十一
 四十二
 四十三
 四十四
 四十五
 四十六
 四十七
 四十八
 四十九
 五十
 五十一
 五十二
 五十三
 五十四
 五十五
 五十六
 五十七
 五十八
 五十九
 六十
 六十一
 六十二
 六十三
 六十四
 六十五
 六十六
 六十七
 六十八
 六十九
 七十
 七十一
 七十二
 七十三
 七十四
 七十五
 七十六
 七十七
 七十八
 七十九
 八十
 八十一
 八十二
 八十三
 八十四
 八十五
 八十六
 八十七
 八十八
 八十九
 九十
 九十一
 九十二
 九十三
 九十四
 九十五
 九十六
 九十七
 九十八
 九十九
 一百

にやまゝにふりかへるゝ
あゝわが世にきこえぬ
にやまゝにふりかへるゝ
あゝわが世にきこえぬ
にやまゝにふりかへるゝ
あゝわが世にきこえぬ
にやまゝにふりかへるゝ
あゝわが世にきこえぬ
にやまゝにふりかへるゝ
あゝわが世にきこえぬ
にやまゝにふりかへるゝ
あゝわが世にきこえぬ

葵（四才）

[illegible]

葵（四ウ）